

競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2021

主催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下JJYUと云う)

後援 スポーツ庁 国土交通省 江東区 江東区体育協会
公益財団法人日本セーリング連盟(以下JSAFという。承認番号)
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(以下YMF Sという。)
日本オブティミストディンギー協会(以下OP協会という。)
日本レーザークラス協会 日本420協会 スバル興業株式会社
株式会社舵社

協力 一般社団法人東京都セーリング連盟 NPO法人マリンプレイス東京

期 日 2021年9月18日(土)、19(日)、20日(月・祝)

会 場 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所及び沖海面
〒136-0083 東京都江東区若洲3丁目1番1号
連絡電話：03-5569-6703
※開会式会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内
※競技海面：東京湾若洲沖海面(OP級上級者、レーザー4.7、国際420級)
及び東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所ポンド内(OP級初級者)
※閉会式会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内

競技種目 ①OP級初級者 ②OP級上級者 ③レーザー4.7 ④国際420級

新型コロナウイルス感染の拡大防止対策

- ① 本レガッタは新型コロナウイルス感染の拡大の状況下での開催となります。
- ② JSAF、スポーツ庁、日本スポーツ協会からの指針等を踏まえて作成し、2020年6月20日加盟団体に発信した「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に則って実施します。
- ③ 本大会はレースオフィスを設けません。
当日の登録受付、チェックアウト・チェックインはLINEオープンチャットで行います。
詳細はエントリー後にお知らせします。
- ④ 健康状態チェックシートは受付の箱に提出して下さい。
- ⑤ 密を避けるため、懇親パーティーは行いません。
- ⑥ 会場では必ずマスクを着用し、着替え等の時には密を避けるよう心掛けてください。
- ⑦ 感染の状況を踏まえてレガッタ開催を中止することがあります。
開催中止の場合には、参加料は払い戻しをします。
- ⑧ 参加艇数が3艇未満の種目はレースを中止します。その場合は参加料を払い戻します。
- ⑨ レガッタ関係者(選手・指導者・保護者・運営役員)は、レガッタ2週間前から体温測定をし、当日も平温であれば参加可能とします。

レース公示(案)

1 規則

- 1.1 2021-2024セーリング競技規則(以下RRSという)に定義された規則を適用する。
ただし、帆走指示書によって変更された部分を除く。
- 1.2 付則Pを適用する。
- 1.3 使用言語間で矛盾が生じた場合は、英文を優先する。

2 広告

艇は、主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加資格

3. 1 国内参加選手は2021年度JSAF会員である者
(会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込みをすること)
3. 2 JJYUに登録しているジュニアヨットクラブが提出した2021年度ジュニアセーラー名簿記載の選手(未登録クラブの選手は参加申込み時迄にクラブの登録をして参加資格を取得すること)
3. 3 主催者が参加を認めた選手
3. 4 各級の年齢制限(2021年4月2日現在)を満たす者
 - * OP級・・・・・・・・・・・・・・・・ 6歳 以上 15歳 以下
 - * レーザー4.7・・・・・・・・・・・・ 12歳 以上 18歳 以下
 - * 国際420級・・・・・・・・・・・・ 15歳 以上 18歳 以下
3. 5 これまでの国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会の初級者種目で艇種に関係なく入賞の成績に入った者は、同一艇種に出場する場合はそれぞれの上級者種目に参加しなければならない。
但し、参加申込み時に第12項「表彰」の辞退を表明された場合は主催団体の裁量で同種目の参加を認める場合がある。

4 参加料及び参加申し込み方法等

4. 1 参加料等は次の通り。
 - 選手・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,000円/1人(艇置料込)
 - JJYU未登録クラブの選手・・・・・・・・ 10,000円/1人(艇置料込)
 - 2人乗り艇(国際420級)選手・・・・・・・・ 14,000円/1艇(艇置料込)
 - 2人乗り艇でJJYU未登録クラブ選手・・・・ 16,000円/1艇(艇置料込)
 - 指導者・保護者・・・・・・・・・・・・ 1,000円/1人
 - JJYU未登録クラブの指導者・保護者・・・・ 3,000円/1人
 - 同伴小中高生・・・・・・・・・・・・ 無料

*参加料は、単に選手のレース参加料のことだけでなく選手の応援、援助で本競技会に参加していただく指導者、保護者のことも含めるものです。

なお、19項に記載の参加申込期限(8月15日)以降の参加申し込みにつきましては8月30日までは受け付けますが、レイトエントリー料として1艇2,000円が上記参加料に追加になります。
4. 2 昼食弁当は参加選手、指導者、保護者各自でご用意下さい。
選手、指導者・保護者、同伴小中高生で弁当希望者は、600円/個(飲物付き)で用意しますので、クラブでまとめて、申込書に競技会の日程ごとに希望数を記入して申し込んで下さい。
例年提供していた最終日の昼食のカレーライスも密を避けるため飲食を提供しないことから本年は中止としました。
※本競技会前9月10日以降の参加取り消しは原則として参加料等の返却は致しません。
※東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所へのヨット、サポートボートの持ち込みについて利用料が徴収されることになりましたが(夫々1艇1日当たりヨットは500円、サポ

ートボートは 750 円) 本年はいずれも競技会で負担します。

※東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所の指定管理者が駐車場料金 (500 円/日) を徴収しますので、直接個別にお支払い下さい。

なお、江の島でのオリンピック開催により江の島をベースとして活動している クラブの艇を若洲に受け入れている為、駐車場スペースが限られています。

つきましては車で参加される方は出来るだけ相乗りで来場いただきますようお願い致します。

4. 3 チャーターボートのチャーター料と申込方法

OP級、レーザー4. 7、国際420級、についてチャーター艇の用意がある。但し隻数、艇の状態については限度がありますので希望に添えない場合がありますが実行委員会に照会の上、参加申込書に記入して申し込んで下さい。

チャーター料は (競技会期間中) 以下の通りです。

OP級 (国産艇)	5, 000 円
レーザー4. 7 (一式)	14, 000 円
国際420級 (一式)	20, 000 円

(OP級は国産艇ですが、初級者、上級者どちらにも貸与する。)

尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20, 000円を参加料と共に納入してください。

特に何も問題がない場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金するので、参加申込書に返金の振込先を記入すること。

4. 4 所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」(名前には必ずフリガナを付けること)に必要事項を記入の上、期限までに下記の競技会事務局申込み先宛てにメール又はFAXしてください。申し込みファイルの様式は下記申し込み先のメールアドレスにお問合わせ下されば返信いたします。連盟のホームページからもダウンロード可能です。

(申し込み内容をプログラム等に正確に反映する為、可能な限りエクセルDataでの申し込みをお願い致します。)

参加申込みと同時に、参加料等はJJYUの下記銀行口座へ振込手続きをして下さい。

(振込手数料のご負担をお願いします)

《参加申込み先》

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

筒井洋二 (JJYU常務理事)

E-mail ytsutsui-sail@outlook.com

FAX 045-821-5428

電話 045-821-5428

携帯電話 090-7901-0306

《参加料等振込先》三井住友銀行 新橋支店

普通預金口座番号 1417976

口座名義 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

4. 5 申込み期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」のメール/FAX 及び参加料等の振込は 2021 年 8 月 15 日 (日) までに必着とします。
やむを得ず参加者の変更がある場合、8 月 31 日 (火) を最終期限として受け付けます。

5 日 程

5. 1 第 1 日目：9 月 1 8 日 (土)

- 08：00～09：00 受付・健康状態チェックシート提出・帆走指示書配布
(東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内)
- 09：00～10：00 開会式 (会場：同上)
- 10：00～10：30 安全講習会 (会場：同上)
- 10：30～11：00 競技運営説明会 (会場：同上)
- 12：30 練習会集合
- 13：00～15：30 海上練習会
- 15：45～16：45 講義、研修会

5. 2 第 2 日目：9 月 1 9 (日) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
国際420級	第 1 レース 09:25	OP級初級者	第 1 レース 09:25 参加艇数によりディビジョンを 分け、予選、決勝方式でレースを 実施する
レーザー4.7	第 1 レース 09:30		
OP級上級者	第 1 レース 09:35		
引続き第 2～第4レースを実施します。			

引き続きレースを実施する場合、艇に注意を喚起する為に、予告信号の少なくとも4分前までに、レース委員会信号艇に音響1声とともに「オレンジ旗」が掲揚されます。
天候により 4 レースが実施できない場合には、翌日に次レースを行う。

5. 3 第3日目：9月20(月) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
国際420級	当日最初のレース 09:25	OP級初級者	当日最初のレース 09:25
レーザー4.7	当日最初のレース 09:30		
OP級上級者	当日最初のレース 09:35		
引き続きレースを実施します。この日は12時を過ぎてからは予告信号を発しません。			

引き続きレースを実施する場合、艇に注意を喚起する為に、予告信号の少なくとも4分前までに、レース委員会信号艇に音響1声とともに「オレンジ旗」が掲揚されます。

※以上、競技日程は天候等によりやむを得ず変更されることがある。

16:00~17:00 閉会式 (会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内)

5. 4 レース数 (案)

OP級初級者クラス以外の各種目は2日間で6レースを予定するが1レースの成立をもって競技会は成立する。

OP級初級者クラスは、参加艇数により2以上のディヴィジョンに分けて、予選、決勝方式でレースを行うが、詳細は競技運営説明会で説明する。

6 計測

6. 1 各艇は、艇を持参する場合には有効な計測証明書を受付時に提示しなければならない。但し、提示出来ない場合には実行委員会に申し出て相談すること。
6. 2 本競技会は、事前計測は実施しないが、艇体、セールとも競技会期間中に随時計測を行う場合がある。

7 帆走指示書

帆走指示書は2021年9月18(土)の受付時に配布する競技会プログラムに記載する。

事前には2021年8月中旬までにJJYUのホームページで公開する。

JJYUのホームページ <http://www.jjyu.net>

8 開催地

図-1に競技会の開催地、A・B各レース海面の位置を示す。

A海面：OP級初級者以外のすべての種目

B海面：OP級初級者

9 コース

A海面ではトラペゾイド・コースを、B海面では風上-風下コース又はトライアングル・コースを予

定し、詳細は帆走指示書にて指示する。

10 ペナルティー方式

10.1 RRS 42の違反に対し付則Pを適用する。

10.2 付則P 2.3は適用せず、付則P 2.2を2回目以降のペナルティーと変更する。

11 得点方法と順位確定方法

11.1 OP級初級者クラス以外の各種目は、5レース以上が成立した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪いレースの得点を除外した合計得点で順位を確定する。

それ以外は全てのレースの合計得点を計算して順位を確定する。

OP級初級者クラスは、決勝レースの合計得点を計算して順位を確定する。

決勝レースが実施出来なかった場合は、予選レースの結果から順位を確定する。

これは規則 A2を変更している。

11.2 種目別個人対抗レースの得点方法と順位確定方法

種目別個人対抗レースの順位は上記11.1の通りとする。

11.3 ジュニアヨットクラブ対抗レースの順位確定方法

下記の方法によりジュニアヨットクラブ対抗レースの順位を確定する。

- ① 各ジュニアヨットクラブの選手が参加している全種目の内、6艇以上の参加する種目の上位3艇の成績の順位を合計する。
- ② 各ジュニアヨットクラブの本競技会の参加艇数が3艇以上の場合、3艇を超える超過分1艇につき-1点の評価点を加算し、その加算は-5点を限度とする。3艇に満たないときは3艇に不足する分だけ1艇につき最多参加艇数の種目の最下位の順位を加算する。
- ③ 遠隔地からの参加クラブについての評価点として、競技会開催地から500km以上のクラブについては、-2点の評価点を加算する。但し、チャーター艇で参加の場合には、-1点とする。距離はクラブ住所地の県庁所在地（JR駅）から新木場駅（JR）までの最短鉄道距離を基準とする。
- ④ 合計点が低いジュニアヨットクラブを優位とし順位を確定する。
- ⑤ 結果が同順位の場合は合計参加艇数の多いジュニアヨットクラブの方を優位とする。それでも順位が確定できない場合は参加艇種の多い方を優位とし、それでも同じ場合は3艇の順位で上位の艇がある方を優位とし、更に同じ場合は参加艇数の多い種目での上位の艇がある方を優位として順位を確定する。
- ⑥ 国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は上記11.3①～⑤の成績に基づいて、国内ジュニアヨットクラブの順位を確定する。

12 表彰

12.1 JJYU特別表彰（本特別表彰はJJYU登録クラブ及び所属選手に限るものとする。）

①小澤吉太郎特別賞：シーマンシップに溢れる選手、指導者またはクラブを表彰する。

JJYU会長特別杯及び賞状を授与する。

②団体表彰：国内ジュニアヨットクラブ対抗レース特別表彰

1位 JJYU会長杯と賞状

2位 JJYU会長楯と賞状

3位 JJYU会長楯と賞状

以上に加えて特別賞として、海外セーリング研修派遣参加資格を授与し、参加費用の渡航費用の一部を援助する。

尚、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際には、競技会概要第15項②の選考基準につき配慮すること。

12.2 個人表彰は以下の通り表彰する。

①OP級上級者

1位 特別表彰(※※)として競技会の冠たる文部科学大臣杯と賞状、

JJYU会長賞状と金メダル

2位 JJYU会長賞状と銀メダル

3位 JJYU会長賞状と銅メダル

4位以下6位までJJYU会長賞状

②OP級初級者

1位 特別表彰(※※)として競技会の冠たる国土交通大臣杯と賞状、

JJYU会長賞状と金メダル

2位 JJYU会長賞状と銀メダル

3位 JJYU会長賞状と銅メダル

4位以下6位までJJYU会長賞状

③レーザー4.7

1位 特別表彰(※※)として一般社団東京都セーリング連盟会長杯(※)と賞状、

JJYU会長賞状と金メダル

2位 JJYU会長賞状と銀メダル

3位 JJYU会長賞状と銅メダル

④国際420級

1位 特別表彰(※※)として江東区長杯(※)と賞状、JJYU会長賞状と金メダル

2位 JJYU会長賞状と銀メダル

3位 JJYU会長賞状と銅メダル

※※上記の特別表彰はJJYU登録クラブ所属選手に限ります。

12.3 上記の(※)印以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にはレプリカを授与する。

13 サポートボートの持込み

「参加申込書」第5項に必要事項を記入の上、申し込むこと。

<サポートボート許可の条件>

(1) 船舶検査済みであり、何らかの保険(対人対物賠償責任保険、搭乗者傷害保険)に加入済

(2) 参加受付時に貸与されるピンク色旗を掲揚しなければならない。

(掲揚のためのポールは当該クラブで用意すること。)

(3) レース終了後は陸揚げすること。

14 責任の所在

- 1 4. 1 本競技会の競技者は自分自身の責任（ RRS 4 「レースすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または身体障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。
- 1 4. 2 レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみあるが、同時にその艇の選手が所属するクラブの代表者（引率責任者）はその決定について確認をして、その結果、クラブの選手全員について状況を把握することとする。

1 5. 障害者への対応

若洲ヨット訓練所には車いす対応のトイレが 2 か所設置されています。

乗艇される方のために車いす対応の栈橋が設置されています。

また、レース観戦のための展望台へ行くため車椅子用のスロープを設置しております。

障害者の方の競技会参加に際しては対応運営員 2 名を陸上本部（受付）に配置して

案内をさせていただきます。

1 6. 選手の肖像権

参加者は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手又は本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真及び生中継、録画あるいは映像またはその製版について、対価を求めることなく、大会実行委員会、JJYU 及び後援・協賛・協力各社に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

1 7. マイクロプラスチックごみによる海洋汚染に対する対策

海洋を活動のベースとするヨットマンとして、海洋環境汚染の原因とされるマイクロプラスチック抑制に協力するため、例年水分補給のため配布してきましたペットボトルを制限することに致しました。

各自給水ボトル等の準備をお願いいたします。（補給の飲用水は準備します）

尚、選手には 500ml ステンレスボトルを配布いたします。

1 8. 新型コロナウイルス感染の拡大防止対策

この対策内容は JSAF がスポーツ庁、日本スポーツ協会からの指導を踏まえて作成し、2020 年 6 月 20 日加盟団体に発信した「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に則って実施します。

- 1 8. 1 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事
 - ① 体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などがある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 1 8. 2 マスクを持参する事（受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- 1 8. 3 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- 1 8. 4 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保する（出来るだけ 2 m 以上/障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

- 18. 5 レガッタ開催中は大きな声での会話、応援をしないこと
- 18. 6 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- 18. 7 レガッタ終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 18. 8 クラブの責任者は、参加選手及び指導者・保護者全員の健康状態チェックシート（ホームページからダウンロードして下さい。）を受付時に纏めて提出する。
- 18. 9 レガッタ期間中は医師1名、看護師1名が運営役員として待機しています。

19. OP級上級者クラスのレースに、OP級全日本選手権出場枠付与の申請について
OP協会に、本競技会のOP級上級者クラスのレースについて、2022年度全日本
オプティミストディンギー級セーリング選手権大会出場枠付与の申請をしました。
正式な出場枠の付与対象者はOP協会から後日発表されます。

20. 競技会実行委員会事務局

事務局長：筒井洋二

Eメール ytsutsui-sail@outlook.com

FAX 045-821-5428

電話 045-821-5428

携帯電話 090-7901-0306

図-1 レースエリア Diagram-1 Racing Area

